

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.66

令和3年
8月発行

6月定例会

特集

うえのはらで頑張る人
談合坂やさい村

特集	うえのはらで頑張る人	2
	定例会で決まった主なこと	4
	小俣修議長ご逝去	6
	新議長あいさつ	6
	議決結果等一覧表	6
	第2回臨時会	7
	会期中の審査	8
	一般質問	9
	閉会中の委員会活動	14
	市民の声	16



うえのはらで頑張る人 Vol.19 談合坂やさい村



談合坂上りサービスエリアにある「やさい村」は農産物の直売所として、いつもにぎわっています。地元の農家のみなさんの新鮮で安心して食べられる農産物を安く提供する心意気が、訪れる人に歓迎されています。「やさい村」のみなさんにお話を伺いました。

新鮮で安心できる農産物を
品質改良や先進地視察も

発足のきっかけは

談合坂サービスエリアが現在の形になった頃、市内の野菜生産者が「自分達で作った質が良く新鮮な野菜をお客様と対話をしながら売りたい」という声が出たのがきっかけです。平成17年頃、数人で野菜販売等を始めましたが、年々好評になって来たことから自主的なグループを立ち上げ、そこが中心となり、今では市内全域で9部会、会員は180名になっています。



どんな活動をしていますか

2カ月に1度、各部長による運営委員会を開き、品質改良等の研修や先進地及び



が作った野菜を多くの人が食べて喜んで顔を想像すると、野菜づくりの鍬を握る手に自然に力が入ります。生産者は高齢者が多いのですが、皆やり甲斐を感じています。また、耕作放棄地の再利用も行われ喜ばれています。

大変なことはありませんか

夏場の高温から野菜の新鮮度を保つことと、売れ残った野菜は原則として生産者に毎日回収してもらっていますので、どのくらい売れるか、天候による

直売所等の視察を行い、2年に1度総会を開いています。やさい村でのお客様の反応は「おいしかった。もう一度食べたい。個人的に売ってくれないか」等の声も多く、私たちが



客足など気になります。せっかくなので野菜が無駄にならないよう苦心しています。やはり、ここでもコロナのために売り上げが20%程度下がっています。

今後取り組みたいことは

若い生産者を増やすこと、個性を重視した魅力ある野菜づくりを推奨し、理想は農業を職業にできるような環境づくりをしたいです。新鮮で安全な野菜販売を原則とするため、保冷库や冷却ミストの充実と、輸送距離も短く二酸化炭素削減にも配慮した野菜を提供したいと思います。そのためにも上野原産の野菜にこだわりたいと思います。



議会や行政に対する要望は

野菜畑を野生動物から守れるよう、鳥獣被害対策をお願いします。建築用木材や間伐材の活用を含めた広葉樹と針葉樹の調整を行う等の森林政策を進めて欲しいです。

休耕地と空き家をセットにした「まちおこし」なども進めて欲しいです。

取材を終えて

取材に協力して下さった皆さんが、とても若々しくはつらつとしていました。この「やさい村」を通じて、野菜をつくることの喜びと、買う人に与える喜び、更には農業に従事する仲間同士の絆が、しっかり根付いていることを感じました。



「やさい村」では、マスク着用、手指消毒など感染対策が行われていますが、表紙写真の撮影時は、マスクを外してもらいました。

6月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和3年第2回定例会が6月2日から6月18日まで17日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	14件
選挙	3件
請願	1件
計	18件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

条例
改正

議案第69号 上野原市長の給与の特例に関する条例制定について

市長給料半減
来年3月までの特例

令和3年7月1日から令和4年3月31日までの間に係る上野原市長の給料について、100分の50を減額して支給するものです。次年度以降については、再度審議が必要となります。

正
補
算

8億5375万8千円の増額補正

議案第73号 令和3年度一般会計補正予算(第2号)

総務管理費	7828万6千円
サテライトオフィス支援事業等	
社会福祉費	852万9千円
介護人材確保事業等	
児童福祉費	2444万4千円
学童保育所エアコン修繕、子育て世帯支援事業等	
保健衛生費	4780万3千円
妊婦応援特別給付金事業	
新型コロナウイルススワクワン接種体制確保事業等	
清掃費	1億9118万2千円
クリーンセンター火災に伴う処分費及び運搬費等	
道路橋りょう費	3億1741万3千円
市道改良工事費、橋りょう長寿命化修繕事業費等	
消防費	6495万2千円
指令センターシステム更新負担金	
消防団小型動力ポンプ付積載車購入費(3台)等	
教育総務費	1516万9千円
スクールバス購入費等	
保健体育費	3844万6千円
市民プールエアコン更新費用等	
議案第82号 令和3年度一般会計補正予算(第3号)	
生活保護費	360万円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業	

人事案件

議案第78号 上野原市副市長の選任の同意について
 議案第79号 上野原市教育委員会委員の任命の同意について
 議案第80号 上野原市教育委員会委員の任命の同意について
 議案第81号 上野原市固定資産評価員の選任の同意について

副市長の選任・教育委員の任命・
 固定資産評価員の選任を同意

副市長 野崎 広仁 氏
 教育委員 山崎 昇 氏
 教育委員 田村たえま 氏
 固定資産評価員 桑名 定則 氏

選挙第4号 小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について

選挙

任期満了に伴い、
 指名推選により当選

長田 義廣 氏 降矢 太治 氏
 長田 森久 氏 桑原 春男 氏

請願第1号 国に対し「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」の提出を求める
 請願

請願

核兵器禁止条約の批准を求める
 請願は不採択

請願第1号「核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出」は総務産業常任委員会に付託され、国に意見書を提出する事を求め採択すべきものとなりましたが、本会議で不採択となりました。

選挙

選挙第5号 議長選挙について
 選挙第6号 東部地域広域水道企業団議会議員補欠選挙について

議長、水道企業団議員の
 選挙を行いました

小俣修議長逝去により、欠員となった議長の選挙が行われ、指名推選により尾形重実議員が当選しました。また東部地域広域水道企業団議会議員の補欠選挙が行われ、指名推選により山口董議員が当選しました。

議会運営委員会の構成も変更

委員長 長田喜巳夫 委員 川島 秀夫
 副委員長 岡部 幸喜 委員 山口 好昭
 白鳥 純雄 杉本 友栄

表彰

10年勤続

全国市議会議長会表彰



川島秀夫議員



東山洋昭議員



故小俣修議員

小侯修議長がご逝去されました



去る令和3年6月1日に小侯修議員がお亡くなりになりました。

小侯議員は平成23年1月に市議会議員に初当選以来、3期10年余り務められ、その間、議長、副議長、総務産業常任委員長等の要職を歴任されました。特に上野原駅南口周辺整備事業など、市政発展に大きく貢献されました。ここに、生前の幾多の功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

いぬいりつ 第17代議長 尾形 重寅



この度、議員各位の温かいご推挙により議長に当選し、誠に光栄なことで感謝いたしております。

現在、新型コロナウイルスにより、市民の日常生活が脅かされ、医療・介護の現場や観光・飲食業等、様々な分野に影響が及んでいます。また人口減少や少子高齢化の問題など、依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況の中、議長という重責を担うことは、身が引き締まる思いであります。本市の発展と住民福祉の向上を目指して職責を全うする所存であります。今後皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年第2回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案件名	内田倫弘	八木一雄	山口薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
請願1	総務産業	核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出に関する請願書	●	●	○	○	◎	◎	◎	●	○	●	○	●	●	●	議長	不採択

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	審議結果	
69	総務産業	上野原市長の給与の特例に関する条例制定について	可決	
70		上野原市国民健康保険税条例及び上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		
71	文教厚生	上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		
72	総務産業	上野原市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
73	予算特別	令和3年度上野原市一般会計補正予算(第2号)		
74		令和3年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)		
75	-	令和2年度上野原市継続費繰越計算書の報告について		受理
76		令和2年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について		
77		令和2年度上野原市事故繰越し繰越計算書の報告について		
78		上野原市副市長の選任の同意について		同意
79		上野原市教育委員会委員の任命の同意について		
80	上野原市教育委員会委員の任命の同意について	可決		
81	上野原市固定資産評価員の選任の同意について			
82		令和3年度上野原市一般会計補正予算(第3号)		

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

第2回臨時会

令和3年第2回臨時会が5月26日召集され、会期1日間で開かれました。専決処分の承認13件、工事請負契約1件、人事案件1件計15議案が提案され、いずれも全会一致で可決されました。

議案第67号

上野原市クリーンセンター焼却施設火災復旧工事請負契約締結について

契約締結

クリーンセンター焼却施設
復旧に向けて始動

クリーンセンター内火災で、焼損した焼却施設の早期復旧に向け、随意契約で工事請負契約を締結しました。

契約金額 2億3100万円

契約相手 東京都港区海岸1丁目14番5号

川崎重工業 株式会社
代表取締役 橋本康彦

議案第68号

上野原市教育委員会教育長の任命の同意について

人事案件

教育長の任命に同意

上野原市教育委員会教育長 土屋 すみじ 氏

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果	
54	-	専決処分の承認を求めることについて（上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について）	承認	
55		専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について）		
56		専決処分の承認を求めることについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）		
57		専決処分の承認を求めることについて（上野原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について）		
58		専決処分の承認を求めることについて（上野原市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について）		
59		専決処分の承認を求めることについて（上野原市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について）		
60		専決処分の承認を求めることについて（上野原市指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例制定について）		
61		専決処分の承認を求めることについて（令和2年度上野原市一般会計補正予算（第9号））		
62		専決処分の承認を求めることについて（令和2年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））		
63		専決処分の承認を求めることについて（令和2年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号））		
64		専決処分の承認を求めることについて（令和2年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第4号））		
65		専決処分の承認を求めることについて（令和2年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号））		
66		専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上野原市一般会計補正予算（第1号））		
67		上野原市クリーンセンター焼却施設火災復旧工事請負契約締結について		可決
68		上野原市教育委員会教育長の任命の同意について		同意

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巴夫
尾形幸召
岡部幸喜
尾形重寅

6月9日、委員会を開催し、付託された条例制定3件、請願1件を審査しました。

議案第69号「市長の給与の特例に関する条例制定について」は、新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響軽減に資するため、3年7月1日から4年3月31日の間に限り、市長の給料月額を100分の50減額して支給する特例措置を設けるものです。

Q 減額した分の財源はどこに充てるのか、市長の公約では任期中も減額することだが、4年度以降はどうなるのか。

A 新型コロナウイルス感染症対策に充てます。PCR検査を含め、使途は協議して決めていきます。4年度以降は、今後の状況を見な

がら市長と相談していきま

す。その後、議案第70号と議案第72号を審査しました。

3案件について採決した結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

次に、請願第1号「核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出に関する請願書」は、国に意見書の提出を求めるもので、採択すべきものとなりました。

また、閉会中の継続審査として、上野原駅南口交差点付近の道路の改良状況について及び市道新井黒田線の崩落箇所状況について、調査することとなりました。



文教厚生常任委員会

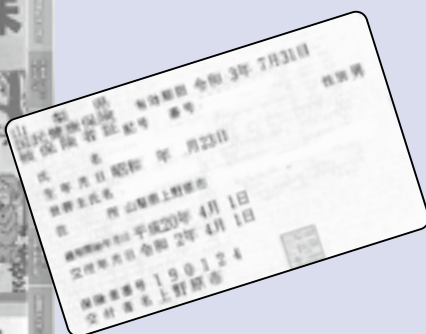
委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

6月9日、委員会を開催し、付託された条例制定1件を審査しました。

議案第71号「上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について」は、新型コロナウイルス感染症が、新型インフルエンザ等感染症として法律上明確に位置付けられたことに伴い、傷病手当金に関する附則を改正するもので、傷病手当金の対象の範囲に変更は無いとのことです。

Q 昨年以降、新型コロナウイルスに関連した傷病手当金の支給はあったのか。

A 12月に1件該当があり、1万8千440円です。以上、当局提出1案件について採決を行った結果、全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。



また、委員から、GIGAスクール構想の進捗状況と上野原中学校体育館の改修状況について調査すべきとの意見があり、閉会中の視察調査をすることとなりました。

自治体デジタル化DXの推進

質問

当市のDXに対する考えは。

答弁

DXとは、「ICTの浸透が人々の生活をより良い方向に変化させる事」であり、その中で求められるのが「自治体DX」です。自治体において、「自らが担う行政サービスをデジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させる」と共に、「デジタル技術やAI等の活用で業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げること」が求められており、当市も積極的に推進すべきと考えています。

質問

DX推進にあたり庁内組織体制整備の考えは。

答弁

当市のDX推進にあたり、現在、職員向けにDX推進の意義や目的、必要性を周知している所です。情報推進担当を中心に、関係各課の横の繋がりを強化する事



内田倫弘

要望

で、全庁的な体制整備を進めていきます。今後、人口減少と共に市職員の削減が予想されます。その状況でも、適切に業務が遂行されるよう、デジタル化に取り組み、最終的には市民サービスの向上を目指します。市長が1日でも早く、当市のDXに対するビジョンを掲げ、先頭に立ち、各課より職員を選抜し進めていただきたい。そしてスムーズにデジタル移行した後も、担当部署等を設置していただきたい。そして誰ひとり取り残されない質の高い行政サービスを実現してもらいたいと思います。



新型コロナウイルス感染症対策について

質問

PCR検査後、陽性反応が出た後の対応は。

答弁

検査後、陽性であった場合は検査を実施した医療機関から保健所に連絡が行き、陽性者に対し、入院調整が行われます。また濃厚接触者の調査や検査も手配します。入院にあたっては症状や病床の空き状況を勘案し、入院先が決められます。なお、県内においては、自宅で療養することはなく、医療機関や宿泊施設を使用します。

質問

退院基準は発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後、72時間経過した場合に退院可能であり、無症状陽性者で宿泊施設を利用している場合、検体採取日から10日間経過した時、または採取日から6日経過後、24時間以上の間隔をあげ2回のPCR検査で陰性を確認できれば、退院可能ということ

質問

PCR検査後、陽性反応が出た後の対応は。

答弁

陽性反応者となった市民の方には、大変な思いをさせることとなります。体の負担、精神的なケア等についても、できる限りのサポートをお願いしたい。

他に、区、自治会の運営について質問しました。



東山洋昭



新体制が目指す
新たな行政への道筋は



八木一雄

質問 公約（六つの約束）実現に向けたロードマップの内容は。事業別に考え方、進め方、期間、そして目標達成の指標など説明願います。

答弁 ロードマップについては、一時も早く作成します。事業をいつまでに達成していくか項目毎に提示します。しばらくお時間を下さい。

質問 副市長としての成すべき役割と行政への思いは。

答弁

これまでの行政経験を生かし、しっかりと市長を補佐して行く事。市長が掲げる「将来に希望の持てる街」にする為の様々な施策の実現に向けて、職員と共に迅速果敢に取り組み、地方自治体の本旨である「住民福祉」の増進に誠心誠意、職責を果たし本市の発展に尽力していきます。



質問 変革激しい教育行政についての今後の取り組みは。

答弁

教育を取り巻く社会は急速な変化をもたらし、その最たるものがICT教育、G

当市の水道行政について



山口好昭

質問 当市水道は、様々な形態があるが組織別の給水戸数、給水人口を伺う。

答弁

令和3年4月の集計では、東部地域広域水道企業団が7788戸、1万7499人、仲間川簡易水道が620戸1549人、秋山簡易水道が626戸1492人その他簡易水道13組合が503戸、1079人、小規模簡易水道15組合が215戸457人です。その他地区組合は今年度、調査を行い実態を把握します。

意見

水道法第2条は、水道が国民生活に直結し健康を守る為に適切かつ合理的の使用に關し必要な施策を講じなければならぬと定めてあります。一定の設備と水道基本計画で優良な水質に評価された組合で、市営移行の要請がされた時は、市に移管して市営にするルール



質問

現在まで市営簡水移行要請組合は何組存在するか。尾続簡易水道組合及び田野入簡易水道組合です。

答弁

現在まで市営簡水移行要請組合は何組存在するか。尾続簡易水道組合及び田野入簡易水道組合です。

補聴器購入の助成を



川田好博

質問 政府が決めた「認知症施策推進大綱」では、どの様に述べているか。

運動不足の改善、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等が、認知症予防に資する可能性が示唆されている、としています。

答弁

難聴が社会参加を躊躇させ、孤立化を招く要因になっていることは明らかだ。また、WHOの指摘についてどう考えるか。

質問

WHOの認知症予防ガイドラインでは、「十分なエビデンスは確保されていないが、他の利益のために高齢者の難聴を改善する補聴器の使用が重要である」と、最終的に結論付けています。

答弁

今補聴器を購入すると片耳16万円もする。少なくとも住民税非課税世帯への導入

質問

を考へてはどうかか。現状、市の単独事業となることから、早急な導入は難しい。しかし、認知症予防に資するとの意見も見受けられることから、引き続き、検討して行きます。



答弁

補聴器の購入について、医療費控除の対象となるとする国税庁の見解は。医師等により、直接、必要とされる補聴器の購入費用については、一定の範囲において、医療費控除の対象とする、としています。

質問

補聴器の医療費控除には、「補聴器適合に関する診療情報提供書」が必要であることを周知してほしい。

答弁

5月20日施行「改正災害対策基本法」により、福祉専門職の連携強化を図り、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が義務付けられた。別府市の取り組みを参考にし、計画の作成を

意見

現在、避難行動要支援者名簿を更新し、個別計画の整備を行ってまいります。詳細に調べて先進事例を参考にさせていただきます。

質問

只今作成中です。完成後はHPや広報等に掲載し周知を図り、ハザードマップの説明会でも重要性を説明する予定です。

意見

誰一人取り残すことのないよう、災害時には円滑・迅速な避難確保の推進を。死亡届の行政手続きでは、年金や保険・税金等複数の窓口で手続きが必要となる。ご遺族の負担を軽減す

災害時に円滑・迅速な避難を確保
地球温暖化対策



遠藤美智子

るために「おくやみ窓口」を設置する考えは。

ご遺族がスムーズに手続きできるように調査研究に努めます。

質問

地球温暖化対策、脱炭素社会の実現への取り組みは。

答弁

上野原市環境基本計画でSDGsに関連する項目について取り組みます。節電・エコドライブ等低炭素化や、雨水のトイレ利用や裏紙の使用等、資源化をさらに推進します。

意見

市としてSDGsを位置づけた推進をするには、職員の意識改革が第一です。先進事例や実証実験などの取り組み等も参考に。

質問

脱炭素社会の実現へ



将来に希望が持てる上野原と
するために、「今」最善の対策を



山口 薫

希望の持てるまちづくりは



白鳥純雄

質問

SDGs（特に気候変動とエネルギー）に関する対策は、市と市民が推進する大きな役割を担っています。上野原も世界と一体です。市の将来のため、温室効果ガス削減目標を再度掲げ、市民に啓発するとともに、学校教育の更なる推進と市の各課単位で目標を立て具体的に進めては如何か。

質問

たる事実であり、当市発展の壁にもなっています。早期にNTT光のエリア拡大が出来るよう関係先へ出向き要請しています。災害時市民が安全に行動できるよう、各防災会の充実と計画を見直し、防災リーダー等の活躍の場を明確にすべきと思う。又、市長の下に防災分科会を置き、各防災機関と連携して防災行政を進めるべきと思うが。

答弁

SDGsは、組織全体で取り組むべきもので、政策秘書課が中心に推進します。学校教育でも一層の充実を図るとともに、来月には市職員と議員向けの研修会を開催し、SDGsに対する理解の促進を図ります。NTTの光回線は、旧町とコモアしおつ以外では使えず、住民は大変な不便を強いられています。移住促進や企業誘致等に大きな足かせになっていると思うが。

答弁

地域防災力の強化が急務であり、自立する自主防災組織のため、防災リーダーと防災士の役割は検討していきます。又、防災分科会等も前向きに検討します。

質問

村上市長の心に描くまちづくりの具体策は。

答弁

山紫水明なこの地の、自然や、農産物、伝統や文化など人材や地財を活かし市民と一緒に考え、行動をする。法令順守、公正公平、無駄な税金を使わない、情報公開、自ら汗をかく、この思いで市政に取り組みます。災害に出動する、消防団員の感染リスク対策は。

質問

諸行事や会議等については、人数制限、書面会議、中止等の対応をし、災害出動や訓練、点検は昨年同様の対策を行う。

答弁

災害時に出動する消防団員のワクチン接種を優先的に行って欲しい。消防署職員が感染、濃厚接触者となった場合の計画を伺います。

質問

偶数日、奇数日に当直を振り分け、2部体制勤務の為本署への消防力集中を中心

答弁

とした、2出張所の本署引揚げによる一時閉鎖や消防総務課の対応による実施計画です。

意見

大月市、都留市は3班編成勤務です。当市も働き方改革や広域化を見据えて3班編成勤務にするべきです。

質問

ICTを活用した教育も大切だが、大人になり社会を生き抜く為の人間教育が必要に思うが取り組みは。

答弁

基礎学力の定着を図るために、道徳教育等による人間教育とICT教育の推進による情報活用能力の養成などを柱とし、取り組んでいきます。

答弁

情報通信の地域格差は歴然



地域プロジェクトマネージャー制度の活用

質問

令和3年度から国の新事業である「地域プロジェクトマネージャー」制度が始まっている。総務省は、地域活性化のため、すでに地域おこし協力隊制度を創設し、地方自治体を支援してきているが、今日に至るもまだ十分という状況にないため、今回この制度を創設している。制度の内容は。

答弁

地方自治体が地方創生や地域活性化の実現に取り組む場合は、行政だけでなく地元の間企業や関係団体など、地域の人を巻き込みながら、専門的知識を有する外部人材等も招聘し進めていくことが重要となります。この制度は行政と民間の考え方の違いなどを理解した専門的な知識や経験を持った「ブリッジ人材」の積極的な推進を図ることを目的に創設されています。制度を有効活用すること

意見



長田喜巳夫

が、魅力的なまちづくりの推進に寄与できると考える。魅力的なまちには多くの人が訪れ、移住・定住に繋がりが人口減少を抑えていくことに連動していく。人口減対策と魅力的なまちづくりは表裏一体のものと考ええる。国から最大650万円の財政支援があることから、人口減少に歯止めをかけるためにも人材の活用をすべきである。

他に、地域おこし協力隊、人口減少とまちづくり、集落支援員制度、魅力的なまちづくりについて質問しました。



コロナ対策、PCR検査の拡充をこども園構内道路の違法性の認識は

質問

県下及び本市においても感染者が多発している状況の中、多数の市民へのワクチン接種が進むまでは、全ての希望者を対象にPCR検査を実施すべきでは。

答弁

PCR検査を希望する人全員にというのは選挙公約であり、今までワクチン接種に移行していましたが、国内など無症状の人によるクラスターの発生と、当市の都内への通勤通学者等の現状を思うと、いつ、どこで感染者が出るか分かりませんので、明日のコロナ対策会議に提案し、今後ワクチンとPCR検査の二本立てにて前向きに考えていきます。

質問

上野原こども園の構内道路は地方自治法第238条の4項において私権の設定であり違法であることを、かねてより指摘してきました。江口市政下では、該当



杉本公文

しない7項の規定を理由に問題ないとしてきましたが、村上新市長は、どのように考えるのか。あの通路のことに関しては、当時、私も議員でしたが、どちらかというと、いかなものであるかという立場でありましたが、ここでの判断というのはし切れないところがあります。自治法上、良いかどうかということとは、県や国と、しっかりと相談させていただき判断させていただきます。

他に、村上市長の選挙公約6項目について質問しました。



卓上型PCR装置

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巳夫
杉本友栄
岡部幸喜
尾形重寅

閉会中の継続調査として、5月14日、「四方津駅のバリアフリー化の現状について」と「化学消防車の稼働状況について」視察を行いました。

最初に四方津駅に向かい、市設置の昇降施設棟については、地域の要望等を踏まえ、エレベーターと階段を一体として整備するよう、設計変更の計画を立てており、今後の進捗状況によっては変更になる可能性があり、歩道を国交省が整備する計画であるため、完成は今のところ未定とのことでした。

委員から、冬場の凍結への対策はという質問については、工事中の階段と仮設階段の動線を分離し、仮設階段には手すりを設置するなど安全を確保し、冬場は滑らないよう対策を行う予定ですとの説明がありました。

次に消防署へ向かい、説明を

受けました。

旧化学消防車は27年間使用し老朽化が著しく進んでいたため、2年度に水槽付きの化学消防ポンプ自動車1台を購入した経緯があります。

委員会として、四方津駅については、市民の通行の安全確保を第一に、国・県・施工業者・JRと連携し、滞りなく駅の整備を進めること、また、消防署については、化学消防車を有効に活用する中で、より迅速・確実な対応に努めることを要望しました。



文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
小俣 修
川島秀夫
山口好昭

閉会中の継続調査として、5月13日、「図書館の運営状況について」調査を行いました。

はじめに、図書館の概要、新型コロナウイルスの影響、図書館の利用促進の取り組み、新型コロナウイルス対策についての説明を受け、続けて屋上庭園を見学しました。

委員からは

- 図書館運営のあり方について市民に広く意見を求めるべきである
- 古い資料を廃棄し更新する際の理由と、かかる予算を把握しておく必要がある
- 選書は、より市民目線を重視するべきである
- 図書等を充実させるためには、その分の予算の確保が必要である
- エントランスの企画は、リピーターも楽しめる様な工夫をお願いしたい

■ 若い人達の利用が少ないため、市民への周知方法を検証し、存在をもっとアピールするべきである

■ 県道の入口に図書館の案内板を設置し場所を分かり易くしてはどうか

等の意見が出されました。担当課には、完成した屋上庭園を有効活用すること、多くの市民に図書館の良さを知ってもらえるよう、周知方法等を含めた工夫とそれに伴うマンパワーと予算の確保をされることを要望しました。



まちづくり特別委員会

委員長 八木一雄
副委員長 遠藤美智子
委員 他 14名

令和元年6月第2回定例会に於いて、昨今の本市の状況は「人口減少」等に伴い経済の停滞から財源不足への危惧。そして「中心商店街の活力」など地域経済の縮小が懸念されている現状を打開するために、議会として将来に希望の持てるまちづくりに取り組むべく新たに「まちづくり特別委員会」を設置し活動を開始しました。

当委員会は複雑・多岐に渡る課題をスピーディーに対応し且つ、対策を講じる為、二つの分科会を設置し「公共交通のあり方」（第1分科会）、「中心商店街の活性化」「子育て支援と定住・移住対策な

ど安心して住めるまちづくり」そして「情報基盤の整備」（以上第2分科会）とそれぞれのテーマに沿って調査、検討を行いました。2年間の期間ではありましたが、この経過を踏まえ、6月3日に別項内容にて市長に提言を行いました。



第1分科会の提言

- ・ スクールバスの混乗化
- ・ デマンドタクシーの駅への乗り入れ
- ・ デマンドタクシーの増便の柔軟な対応

- ・ データの分析で地域の実情にあった公共交通の運行
- ・ 地域の実情にあった新たな手段の検討
- ・ 路線バスの利用者増加の努力

第2分科会の提言

- 中心商店街の活性化
 - ・ 道路や駐車場、空き店舗の活用など街並みの環境整備
 - ・ 組織的、継続的な人づくりを含めた仕組みの構築
 - ・ 若者に魅力あるまちづくり
 - ・ 定住者向けの補助金制度、就業支援制度の創設
 - ・ 地域資源を生かした景観整備で癒しの空間確保
- 民俗資料館など文化財展示施設の常設
 - ・ 滞在型市民農園の整備
 - ・ 東京都に上野原事務所の設置の検討
 - ・ ガイドブック等による情報発信の充実
- 情報基盤の整備
 - ・ 全世帯への行政放送を配信
 - ・ 5Gの動向を含め光ファイバーケーブルの維持管理

緊急要望

ワクチン接種の緊急要望

6月18日新型コロナウイルスワクチン接種について、市長に緊急要望を提出しました。

- 障がい者や施設職員などの接種について優先的な接種や予約について配慮を行うこと
- 介護従事者、教育・保育関係者など優先接種を行うこと
- ワクチンの安全性や接種情報を分かりやすく丁寧な情報発信を行うこと
- 予約サポートセンターの設置などスムーズな予約をできるようにすること
- 適切なワクチンの確保を県・国へ働きかけること
- かかりつけ医で接種できるようにすることなど医師会と協議を進めること
- 接種会場に行くことが困難な人への支援を拡充すること

市民の声



上野原小学校児童会長
細川大翔さん

コロナに負けないぞ！

「地域の皆さん、いつも私達を見守ってくださりありがとうございます。」という市の防災の放送を聞いたことがありますか。

僕はいつも見守ってくれている地域の方々への感謝の気持ちが伝わるように心を込めて録音しました。

今、僕たちはコロナ対策のため、以前のような学校生活を送ることが難しいです。でも「コロナだからできないのではなく、コロナでもできること」と考えて、みんなで工夫をして楽しく過ごしています。

でも、一日でも早くみんなとマスクなしで話したり遊んだりする日が来て欲しいと願っています。そんな日常が戻ってくるの願いも込めて録音しました。僕の放送を聞いて、地域の皆さんが少しでも元気になってくれたら嬉しいです。

9 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
			本会議 (初日) 傍聴可	議案調査	委員会 予算特別	
5	6	7	8	9	10	11
	議案調査	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	委員会 決算特別	委員会 決算特別	
12	13	14	15	16	17	18
	委員会 決算特別	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	
19	20	21	22	23	24	25
	敬老の日	本会議 一般質問 (予備日)	議案調査	秋分の日	本会議 (最終日) 傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



編集後記



コロナ対策の関係で外出等が制限され、いわゆる「おうち時間」が増加し、自分や自分の周囲を見直す機会が増えています。今まで当たり前だと思っていた家族の行動も、その仕事の多さや気配り等に新たな発見と有り難さを感じています。今回の特集の取材で、談合坂のやさい村の活動を拝見いたしました。皆さんが丹精込めて育てられた野菜を、“上野原の野菜は新鮮で美味しい”と多くの方が購入していました。野菜をつくる人、買う人それぞれの明るい笑顔が心に残ります。本誌も更に読みやすく、有意義な情報を掲載できますよう努力を重ねていきたいと思っております。今後とも本誌へのご意見・ご要望を宜しくお願いいたします。(山口薫)

議会だより編集常任委員会
委員長 川田 好博
副委員長 山口 薫
委員 内田 倫弘
委員 八木 一雄
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子